

# 千刈狸の呟き

狸仲間には、本業の外にも様々な役を引き受けている者も大勢いると聞いている。拙狸も昨年からは教育狸なる役を仰せ仕った。月1回の定例会の他に、呼び出される行事の多い事多い事。本業中は当然出かけられぬとお断りしているが、しかし役を受けた以上何とかやり繰りして出かけることも多い。配布される文書にひととおり目を通すこともひと仕事である。つい先日、「いじめ防止基本方針の策定について（通知）」なる文書を渡された。拙狸が教育狸に選ばれた理由が、不登校についての勉強会を長年行なって来たことにあると聞いている。いじめ問題についても役立つ意見を求められているようである。じっくり読まねばならぬようである。恒例の職務に学校訪問がある。市内全小中学校を半分ずつ、二班に分かれて訪問し、校長の学校経営方針を聞き、全クラスの授業参観し、協議会を行ない、指導助言を行なうのである。教職経験のない拙狸は、授業の様子に感心してばかりで、授業方法については全く助言などできないのである。実に驚くのは、先生方の言葉がとても丁寧なのである。又子供達もよく集中して先生の話や、他の生徒の発表を聞いているのである。全国学力調査で、トップクラスであるのもここに由来していると思われる。もちろんその他、秋田県式と呼ばれる教育方針や、様々な工夫、努力があることも、大きく貢献していることも事実である。秋田県の教育に学べと各県から訪問視察が訪れている。ある市からは総勢150名の教師、教育関係者が五班に分かれて来荘した。毎回各学校視察、授業参観の後で、本市の教師、関係者との熟議と懇談会が開かれた。その中で一様に指摘

## ～最近思ったこと～

### 教育狸

されたのは、子供達の授業態度の良さと家庭学習が良くなされていることであった。そう言われてみて、はじめて気がつくことであった。ある成績不良だった県では下位校の校長名を公表する、しないでもめたらしいが、全国学力調査は今後の学校経営、授業の仕方、さらには家庭教育との連携について役立てるものであり、単に学校教育だけを評価するためのコンクールではないのだから、自慢したり、恥に思うものではないと、拙狸は思うのだが。

話をかえて。南三陸町の防災センターの鉄骨のみとなった建物の取り壊しが決定されたと報道された。愛する人、大切な人を失った人にとって、とても正視するに耐えられない残骸なのだと思う。しかし2011年3月11日の大惨事を忘れない、風化させたくないと思うのであれば、万感を呑み込んで残すべきだろうと思う。今回の巨大津波が空前でないことは、調査で明らかになってきた。しかし、今回調査されるまでは全くと言って良い程、記録は見つからず忘れ去られてしまっていたのである。津波はあったことはわかっているが、その規模は不明のままだった。高台にある神社の石碑を丹念に調査して今回と同規模の巨大津波があった事がわかったのである。しかしこと既に遅しである。非情を承知で言えば、あの建物の残骸を見て激しい悲しみと耐え難い思いに襲われる人々もあと数十年でいなくなるのである。絶後ならぬ数百年後にまた起こりうる巨大地震と津波に対する、2011年からの警告として、数百年後の多くの人々の命を救うために、あの建物は保存すべきと考えるのである。

